

神戸・南京をむすぶ会 12月集会

林伯耀さん講演会

「関東大震災100年ー中国人虐殺事件ー」

来年は関東大震災から100年となります。その節目の年を迎えるにあたり、大震災時の中国人虐殺事件について、王希天さんの殺害についても含めて林伯耀さんからお話をお聞きます。

大震災では戒厳令が敷かれる中、朝鮮人に対するヘイトスピーチ、流言が拡大され、民衆、軍隊、警察によって朝鮮人が数千人殺害されたことは一応政府も認め、教科書にも記述されています。しかし東京都知事が9月1日の追悼式典に追悼文の送付を取りやめ、都の人権関連施設が朝鮮人虐殺に関するアートの展示を拒否するなど、あったことをなかったことにする動きが最近顕著に強まっています。一方、中国人虐殺についてはあったことすら広く知られていないという現実があります。

過去に起こした朝鮮人、中国人に対するこの膨大なヘイトクライムを記憶、継承しなければ、現在の日本社会の排外的な動きを一層後押しすることになり、それは戦争を始める準備となります。ウクライナ戦争や共和国のミサイル発射に乗じて、台湾、朝鮮半島有事が叫ばれ、憲法改悪による戦争のできる国造りが進められている今、歴史の事実を今一度おさえることは急務です。

林さんは中国人強制連行の問題にも深く関わり、「（日本の）指導者は、今に至るもその事実を素直に認めようとしないうし、謝罪もしない。これでは異境に死んでいった貴方がたは永遠に目をつぶることもできない。これは、死者の恨（ハン）、生者の恥だ 私は中国人としてではなく、この地上に生きる一人の人間として恥ずかしく思う・・・」と語っておられます。この言葉は、強制連行の犠牲者のみならず、日本の植民地支配、侵略戦争での犠牲者すべてに対して、まず日本人が自らのものとして胸に刻まなければならない言葉です。歴史の事実を深く知り、死者の恨（ハン）、生者の恥を雪ぐために一人の人間として何ができるか、考え、行動することが私たちに求められています。（宮内陽子）

■日時 2022年12月8日（木）午後6時30分～8時30分

■会場 神戸学生青年センター「ウエスト100」

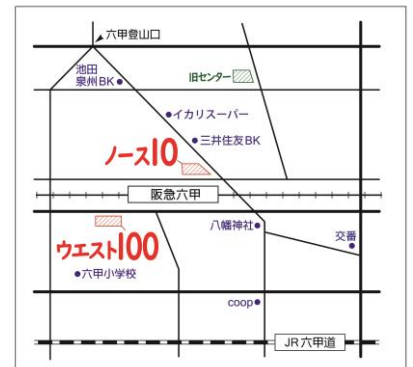
（阪急六甲駅下車、線路南を西へ100メートル）

〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22

TEL 078-891-3018 FAX 078-891-3019

■参加費 1000円

事前申し込みは不要です。当日、会場でお支払いください。



主催:神戸・南京をむすぶ会

（代表：宮内陽子、副代表：門永秀次、林伯耀、事務局長：飛田雄一）

〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22 神戸学生青年センター内／

TEL 078-891-3018 FAX 078-891-3019／

ホームページ <https://ksyc.jp/nankin/> e-mail hida@ksyc.jp

後援:神戸学生青年センター